

防犯 最新線

第18話

赤池安心安全な町づくりの会 赤池区自主防災会



緑のベスト姿の赤池安心安全な町づくりの会のメンバーたち=赤池公民館で



オレンジのベスト姿の赤池区自主防災会のメンバーたち=同館で



自転車でもパトロール

緑とオレンジ 強力な二枚看板

日進市の西の玄関口・赤池は今注目の地域だ。箕ノ手で土地区画整理事業が展開され、11月24日、セブン&アイ・ホールディングスが運営する大型商業施設「プライムツリー赤池」がオープンした。新しい住環境への期待が膨らむ一方、マイカーなどの出入りが増えることで、地元防犯グループのメンバーは「交通渋滞ばかりか予期せぬ犯罪が起こる心配はぬぐえない」と、対策に頭を悩ませている。

11月7日、赤池公民館に地元が誇る防犯の二枚看板の一つ「赤池安心安全な町づくりの会」のメンバーが集まり、今後の対策について話し合った。メンバーからは「朝夕の渋滞がさらに激しくなるのでは」「たむろする若者が増えなければいいが」「駅前には交番がほしい」などの意見が上がった。住宅開発が加速すれば、地区全体の人口は1万数千規模に増える。竹内義光さん(79)は「新しい人たちにとって区の組織に入ることが、地域で生活する上での第一歩」と交流の大切さを訴える。

同会は、2010年11月に、

地元を支える有志で結成した。48人が登録し、うち半数のメンバーが活動に参加する。3台の青色防犯パトロール車による巡回のほか、通学路の立ち番など児童の見守りを定期的に続けている。主力メンバーは公園愛護会活動にも参加。環境美化を「安心安全の柱」と位置づけ、清掃や不法投棄の監視にも熱心だ。

もう一つの心強い組織は、14年4月に設立した「赤池区自主防災会」だ。区長、班長ら精鋭19人で構成する。もともとは防災が始まりだが、2年前から自主防犯パトロール会を立ち上げ、青パト活動を展開している。昨年4月、バイクを物色する不審者を見かけて通報したこともあった。メンバーは「活動はじわつと浸透している。日常生活に負担なく続けたい」と前向きだ。

地区が抱える課題は、都市化の進展に地域コミュニティがいかに対応しているかだ。町づくりの会代表の谷口良晴さん(75)は願う。「1年かけて問題を整理したい。変化を受け入れながら、皆さんと力を合わせて赤池をよくしたい」(広)